

明学生のライフスタイルを調査、分析します。

51
明学生と若者文化

実施期間：2022年7月14日～7月27日
 回答数：135件

Q6 流行に関するご自身の考え方を教えてください。

流行を気にするようになっているが、取り入れることはあまり意識していない

新しい観点を知ることが多くて楽しい、いい出会いの機会

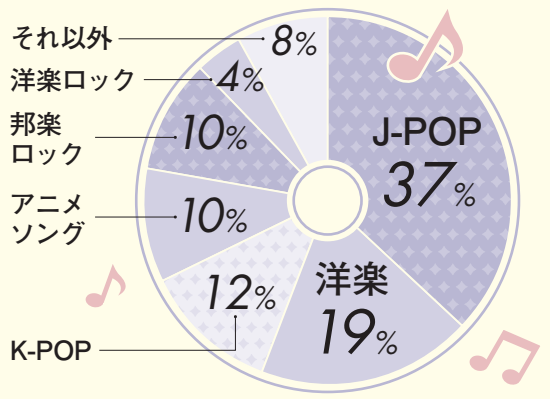
常に流行だけに乗っからず自分が好きだと思えるものを大切にしたいと思う

知っている話題が多くて友人とのコミュニケーションの種になるような気がする

流行が変わることは、時代が良い悪いに関係なく、時代が動いている証拠なので良いことだと思う

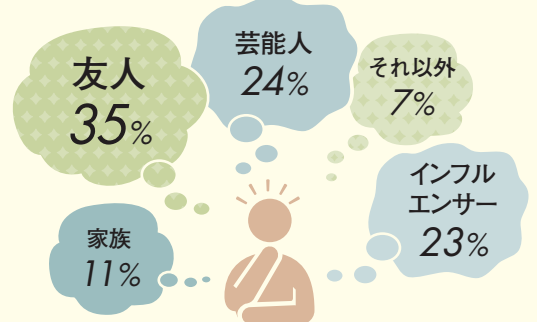
「流行」のメリットやデメリット、時代の変化、自分以外の人ののかかわりなど、さまざまな視点からの考え方があり、興味深い意見が多く寄せられました。

Q4 どんなジャンルの音楽を聴いていますか？



「J-POP」が1番でその次に「洋楽」、「K-POP」という結果になりました。最近では海外の音楽が流行りつつあり、特に若い世代に多種多様な音楽が広がっている印象があります。

Q5 誰から影響を受けることが多いですか？



「芸能人」や「インフルエンサー」も多く割合を占めました。1番は「友人」でした。授業やプライベートなど、多くの時間をともにするからこそ受ける影響も大きいのではないのでしょうか。

多様な若者文化が果たす役割

今回は「明学生と若者文化」をテーマに、ファッションや音楽など、明学生が興味を持つさまざまな分野の流行りについて調査しました。

大学はそれぞれの趣味や個性を持つ人が集まっているため、日々周囲から刺激されることが多いのではないのでしょうか。最先端の流行りや時代が変化しても人気のもの、再燃するものなど、流行の形は多様です。

今回の調査も幅広い回答を得ることができ、明学生の流行も一つの型に収まらないことがうかがえました。

私たち若者の間での流行は、いわば言語のようなものになっています。初対面の人や年齢の異なる人、さらには実際に会っていない人でさえ、共通の文化が会話の架け橋となることで、関係の構築に大きな役割を果たします。だからこそ、自分の個性や好きだと思うものを大切にしようとする考えが生まれるのかもしれないね。個々の価値観を尊重しつつ、自分を取り入れた若者文化をツールとして、コミュニケーションのきっかけにする。そのような和がさらに広まれば良いですね。

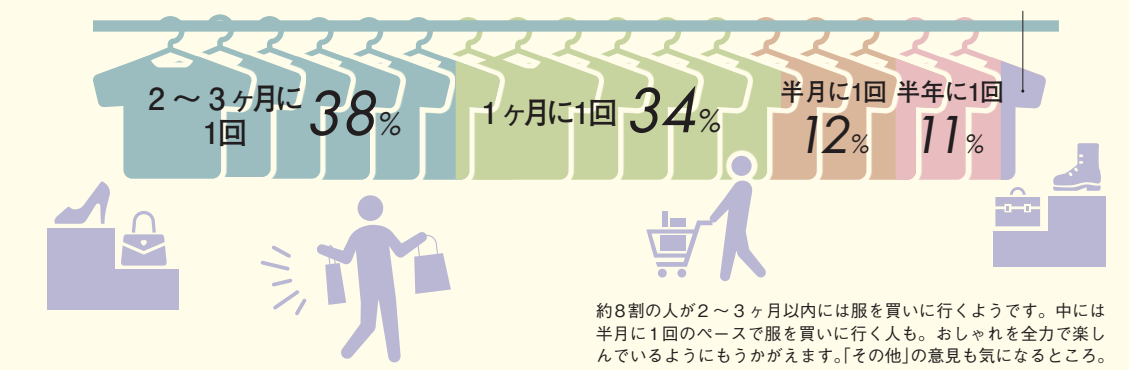
学生広報委員：岡崎友香(社会1年)、遠藤陽奈(国際1年)、福田健将(消費情報環境法1年)

Q1 今の流行りを教えてください。



「ビビッドカラー」や「昭和レトロ」といった意見が多く寄せられ、一昔前の流行がリバイバルしているようです。また、「韓国料理」だけでなく「韓国コーデ」や「K-POP」など、韓国文化自体も人気があるようです。「かき氷」や「ハンディーフアン」、「日傘」といった涼しさを感じられるものもあげられました。

Q2 服はどのくらいの頻度で買いに行きますか？



約8割の人が2～3ヶ月以内には服を買いに行くようです。中には半月に1回のペースで服を買いに行く人も。おしゃれを全力で楽しんでいるようにもうかがえます。「その他」の意見も気になるところ。

Q3 髪型のこだわりはありますか？

なるべく人とかぶらない髪色にする

清潔感を意識している

周りに髪を染めている人が多いので、あえて髪を染めずそれを個性としている

パーソナルカラーにあった髪色にしている

シュシュやリボン、カチューシャ、ヘアピンなどのヘアアクセサリを集めている

他にも「髪質を意識している」や「縮毛矯正している」などの回答がありました。大学生になるとさまざまな髪型に挑戦できますが、1人ひとり、自分らしさを意識していることがわかりました。